

家族介護者の社会参加を促すための介護者支援のあり方検討

午頭 潤子・森山 千賀子

<目的>

介護保険制度の改正、地域包括ケアシステムの構築の推進、介護離職防止の社会的要請などにおける社会システムの変容の中で、家族介護者及びケアラー（ケアをする人。以下、ケアラー）の社会参加を促すための支援体制の1つとして、地域での支援プログラムが挙げられる。

本研究では家族介護者及びケアラーの社会参加を促すための地域での支援モデルの構築が必須であると考え、社会参加に成功した家族介護者及びケアラーが利用した社会参加プログラムを視覚化することを目的とする。

<方法>

家族介護者及びケアラーの社会参加モデル構築のため、社会参加プログラムを計画及び実施をしている機関担当者と社会参加に成功した家族介護者及びケアラーに対する聞き取りを実施した。

①成功事例に関わる社会参加プログラムを計画及び実施をしている機関担当者

- ・方法：成功事例に関わる社会参加プログラムを計画及び実施をしている機関担当者8名に

半構造化面接を実施。

- ・質問内容：事業の設立の経緯、事業（活動）内容、地域で社会参加へのプログラムを展開する理由、家族介護者及びケアラーに対する配慮、家族介護者及びケアラーが参加後の変化、社会参加へのプログラム支援に対する考え方。

- ・期間：2016年9月～10月

②家族介護者及びケアラー

- ・方法：社会参加プログラムを利用し社会参加に成功している家族介護者及びケアラー8名を対象に半構造化面接を実施。
- ・質問内容：家族介護者及びケアラー属性、要介護者属性、プログラムを知った経緯・参加理由、参加後の気持ちの変化、参加後の要介護者へのかかわりの変化、今後の生活の見通し、今後期待する支援
- ・期間：2016年12月～2017年3月

<結果>

本研究対象者が参加した社会参加プログラムの種別は以下の通りである。

社会参加プログラム名	プログラム対象者	プログラム開催内容
ケアラーズカフェ	ケアラー・地域住民	※調査時 カフェ 月～木 12:00 - 17:00 相談時間 月～金 12:00 - 17:00 カフェメニュー 300～500円（コーヒー、お菓子付き） 開催場所：ケアラーズカフェ

社会参加プログラム名	プログラム対象者	プログラム開催内容
認知症カフェ	区在住の65歳以上の認知症及び認知症の疑いのある人とその家族。認知症予防に関心のある人。	区内5か所、各月1回開催。 午前10時～午後4時 参加費1人200円（別途材料費実費がかかることがある） 相談、交流、プログラム、認知症専門医等による講話や相談。 開催場所：区民センター等公共機関
介護者の会 (介護者交流会)	介護者	A区内3か所、B区内5か所 月1回、2時間 3か月1回介護者の学習会開催時（前半1時間が学習会、後半1時間が交流会） 参加費（運営費）100円（お茶とお菓子付き） 開催場所：区民センター等 ※1か所のみ特養解放スペース（無料）
ケアフレンド・電話相談	介護者	毎週木曜日10:30～15:00 電話相談後、希望者には訪問相談を随時実施。 無料（電話通信費実費）
介護者サロン 娘サロン	主に母親等を介護している女性	月1回土曜日14:00～16:00 参加費：500円（コーヒー、お菓子付） 開催場所：ケアラーズカフェ
介護者サロン 息子サロン	主に母親等を介護している男性	月1回土曜日13:00～15:30 参加費：300円（軽食付） 開催場所：NPO法人事務所
若者ひろば	主に30代、40代のシングルの介護者	月1回土曜日18:00～20:30 参加費：1300円（夕食・ワンドリンク付） 開催場所：ケアラーズカフェ

<今後の展開>

本研究では、家族介護者の社会参加を促すための地域での支援モデルの構築が必須であると考え、社会参加に成功した家族介護者及びケアラーが利用した社会参加プログラムを視覚化した。

今後は、プログラム参加へ至った経緯や実施内容から得られた社会参加への意欲や気持ちの変化を検証し家族介護者及びケアラーに求められるプログラムを検討したい。また社会参加プログラムを計画及び実施をしている機関担当者側が行うプログラム企画への想いや参加者への配慮などを検証し、家族介護者及びケアラーの社会参加を促す

ための介護者支援社会参加プログラムモデルの構築を提言したい。

謝辞

本調査にご協力いただきました家族介護者及びケアラー様、社会参加プログラムを計画及び実施をしている機関担当者様に深謝申し上げます。また調査に多大なご協力をいただきました東洋大学渡辺道代先生、NPO法人介護者サポートネットワークセンター・アラジンに御礼申し上げます。